

部 長		次 長		課 長		技副 参 術事		技副 参 術事		技 術 主 幹		設 計 者		審 査 者				
--------	--	--------	--	--------	--	---------------	--	---------------	--	------------------	--	-------------	--	-------------	--	--	--	--

## 工 事 仕 様 書

事業年度	平成30年度	工事番号	仙松維舗第1号
工事名	春日PA(上り線)駐車場舗装工事 <span style="color: red;">実施</span> 仕様書		
路線名	(主)仙台松島線		
施行地名	宮城郡 利府町 春日 地内		
工期	平成30年 月 日 から 平成31年 1月 31日		

## 工 事 概 要

--	--

春日PA(上り線)駐車場舗装工事

施工延長 L = 238 m

本工事

大型PAエリア舗装

下層路盤工(RC-40 t=32cm) A = 1,300 m<sup>2</sup>

上層路盤工(再生AS安定処理 t=10cm) A = 1,300 m<sup>2</sup>

基層工 (再生粗粒度AS t=5cm) A = 1,300 m<sup>2</sup>

表層(半たわみ性舗装)

表層(半たわみ性舗装(13) t=5cm) A = 1,300 m<sup>2</sup>

セメントミルク浸透(t=5cm) A = 1,300 m<sup>2</sup>

駐車場舗装

下層路盤工(RC-40 t=32cm) A = 4,310 m<sup>2</sup>

上層路盤工(再生AS安定処理 t=10cm) A = 4,310 m<sup>2</sup>

基層(再生粗粒度AS t=5cm) A = 4,310 m<sup>2</sup>

表層(再生密粒度AS t=5cm) A = 4,310 m<sup>2</sup>

管理用道路舗装

管理用道路舗装(再生密粒度AS t=5cm) A = 3,880 m<sup>2</sup>

縁石工

園路縁石工(歩車道ブロック) L = 1,117 m

休憩施設整備工 一式

標識工 一式

区画線工 L = 4,074 m

道路植栽工 一式

雨水排水設備工 一式

附帯工事

路面切削補修(改質Ⅱ型t=5cm) A = 640 m<sup>2</sup>

舗装復旧工(再生密粒度AS(13)t=5cm) A = 2,100 m<sup>2</sup>

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
舗装		式		1			
舗装工		式		1			
アスファルト舗装工	大型エリア舗装	式		1			
下層路盤（車道・路肩部）	路盤材種類：再生クラッシュ RC-40, 仕上り厚：320mm	m2		1,300			
上層路盤（車道・路肩部）	路盤材種類：再生瀝青安定処理材（40）, 仕上り厚：100mm	m2		1,300			
中間層（車道・路肩部）	材料種類：再生粗粒度アスファルト混合物（20）, 舗装厚：50mm, 平均幅員：1.4m以上	m2		1,300			
半たわみ性舗装工		式		1			
表層（車道・路肩部）	材料種類：開粒度アスファルト混合物（13）, 舗装厚：50mm, 平均幅員：1.4m以上	m2		1,300			
セメントミルク浸透（超速硬型）	施工厚：45mm以上55mm未満	m2		1,300			
舗装工		式		1			
アスファルト舗装工	駐車場舗装	式		1			

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クラッシュ RC-40, 仕上り厚:320mm	m2		4,310		
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生瀝青安定処理材(40), 仕上り厚:100mm	m2		4,310		
中間層(車道・路肩部)	材料種類:再生粗粒度アスファルト混合物(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m以上	m2		4,310		
表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスファルト混合物(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m以上	m2		4,310		
舗装工	管理用道路 延長L=171.5m	式		1		
アスファルト舗装工		式		1		
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クラッシュ RC-40, 仕上り厚:150mm	m2		3,880		
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:粒度調整碎石 M-40, 仕上り厚:100mm	m2		3,880		
表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスファルト混合物(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m以上	m2		3,880		
歩道インターロッキング舗装	路盤厚t=10cm 曲線ブロック3色 ブロック厚 t=6cm	m2		1,550		
木質系舗装	舗装厚t=3cm 路盤RC-40 厚t=10cm	m2		493		

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
コンクリート敷設工	コンクリート厚t=10cm 路盤t=15cm	m <sup>2</sup>		230			
縁石工		式		1			
縁石工		式		1			
歩車道境界ブロック マウントアップ	ブロック規格:C種(180/210×300×600)	m		821			
歩車道境界ブロック マウントアップ（夜間施工）	ブロック規格:C種(180/210×300×600)	m		109			
歩車道境界ブロック フラット（夜間施工）	ブロック規格:各種(2000mm以下、50kg以上550kg未満)	m		72			
歩車道境界ブロック 低頭型	ブロック規格:C種 L=600	m		87			
歩車道境界ブロック 低頭型 （夜間施工）	ブロック規格:C種 L=600	m		28			
地先境界ブロック	ブロック規格:C種(150×150×600)	m		137			
休憩施設整備工		式		1			
東屋	参考:(屋根/支柱(10m <sup>2</sup> 以内) アルミ合金 2880x2679)	基		1			

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
ベンチ（背もたれ有り）	参考：L=1.2m	基		3			
野外卓 テーブルセット	参考：1500x1700	基		3			
野外卓工 テーブル	参考：1500x1700	基		3			
標識工		式		1			
小型標識工		式		1			
標識柱（一方通行） （夜間施工）	柱規格：単柱式 径60.5, 柱長さ：2.75m, 施工規模：5基以上	基		2			
標識板（一方通行） （夜間施工）	標識板規格：2.0m2未満	基		2			
標識柱（進入禁止） （夜間施工）	柱規格：単柱式 径60.5, 柱長さ：3.0m, 施工規模：5基以上	基		1			
標識板（進入禁止） （夜間施工）	標識板規格：2.0m2未満	基		1			
標識柱（本線） （夜間施工）	柱規格：単柱式 径60.5, 柱長さ：3.7m, 施工規模：5基以上	基		4			
標識板（本線） （夜間施工）	標識板規格：2.0m2未満	基		4			

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
標識柱（大型車） （夜間施工）	柱規格:複柱式 径60.5, 柱長さ:3.1m , 施工規模:5基以上	基		2			
標識板（大型車） （夜間施工）	標識板規格:2.0m2未満	基		2			
標識柱（進行方向） （夜間施工）	柱規格:複柱式 径60.5, 柱長さ:4.7m , 施工規模:5基以上	基		6			
標識板（進行方向） （夜間施工）	標識板規格:2.0m2未満	基		6			
区画線工		式		1			
区画線工		式		1			
大型車駐車ます	へ°いゝ式溶剤型, 加熱型	m		870			
普通車駐車ます （夜間施工）	へ°いゝ式溶剤型, 加熱型	m		650			
管理用駐車ます	へ°いゝ式溶剤型, 加熱型	m		300			
へ°いゝ式区画線	施工方法区分:へ°いゝ式 溶剤型, 規格 ・仕様区分:実線 15cm, 塗料規格:加熱	m		1,720			
へ°いゝ式区画線 （夜間施工）	施工方法区分:へ°いゝ式 溶剤型, 規格 ・仕様区分:実線 15cm, 塗料規格:加熱	m		320			

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
ペイント式区画線(矢印・文字)	ペイント式 溶剤型, 15cm, 加熱	m		84			
ペイント式区画線(矢印・文字) (夜間作業)	ペイント式 溶剤型, 15cm, 加熱	m		130			
区画線消去 (夜間施工)	施工方法区分:ウォータージェット式	m		880			
管理用フェンス工		式		1			
管理用フェンス		式		1			
車止め工	φ165 H=0.85m 固定式ステンレスポール	基		19			
防眩版工		枚		26			
防眩版基礎ブロック工	H=1.00m L=4.0m	基		2			
道路植栽工		式		1			
道路植栽工		式		1			
ヤマザクラ	二脚鳥居支柱 H=2.50m C=0.10 W=0.7 肥料有り	本		17			



# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事			事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
ヤボウシ	二脚鳥居支柱 H=2.50m C=0.10 W=1.0 肥料有り	本		12			
ムケ	h=1.50 W=0.4 肥料有り	本		21			
オムラサキツツ	h=0.50 W=0.5 肥料有り	本		496			
ヘニカメ	H=1.80 w=0.4 肥料有り	本		252			
平面張芝工	野芝	m <sup>2</sup>		3,190			
雨水排水設備工		式		1			
雨水作業土工		式		1			
作業土工 (夜間施工)	床掘り+埋め戻し+残土	式		1			
暗渠排水工 (夜間施工)	300x300x2000 車道用	m		77			
暗渠排水工 (夜間施工)	300x300x2000 集水部 車道用 グ レチング L=500 (含む)	m		6			
暗渠排水工 (夜間施工)	300x400x2000 車道用	m		10			

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
暗渠排水工 （夜間施工）	300x400x1000 車道用 曲線部	m		12			
暗渠排水工 （夜間施工）	300x400x2000 集水部 車道用 グ レチング L=500（含む）	m		2			
落蓋式側溝設置 （夜間施工）	300x300x2000 グレチング L=1000（含 む）	m		26			
暗渠排水工 （夜間施工）	CSB φ300x2400	m		25			
集水柵工 （夜間施工）	600x600x600 グレチング 蓋T-2	箇所		1			
集水柵工 （夜間施工）	600x600x700 グレチング 蓋T-25	箇所		3			
構造物取り壊し	PA駐車場	式		1			
舗装切断 （夜間施工）	t=20cm	m		360			
舗装版破碎 （夜間施工）	t=20cm	m <sup>2</sup>		730			
AS殻処理	L=10km 中間処理	m <sup>3</sup>		146			
車止め撤去		式		1			

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
仮設工		式		1			
交通管理工		式		1			
交通誘導警備員		式		1			
交通誘導警備員 (PA部)	(夜間)	式		1			
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費（率計上）		式		1			
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			

# 工事数量総括表(本01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
工事価格		式		1			
消費税額及び地方消費税額		式		1			
工事費計		式		1			

# 工事数量総括表(附01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
舗装		式		1			
舗装補修工		式		1			
路面補修工①		式		1			
路面切削補修	切削 5cm 舗装改質2型 t=5cm 運搬・殻処理含む	m2		640			
薄層舗装	樹脂系滑止舗装 セアラ RPN-203	m2		105			
区画線	実線（溶融式） 白線 15cm	m		240			
路面補修工②		式		1			
舗装切断	厚 t =5cm	m		50			
舗装版破碎	AS厚 t =5cm	m2		2,100			
不陸整正	補充材平均t=5cm RC-40	m2		2,100			
AS処分費	L=10km	m3		105			

# 工事数量総括表(附01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
舗装復旧工	再生密粒度AS(13) t=5cm	m <sup>2</sup>		2,100			
区画線	実線（溶融式） 白線 15cm	m		1,200			
仮設工		式		1			
交通管理工		式		1			
交通誘導警備員		式		1			
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費		式		1			
運搬費		式		1			
建設機械運搬費		式		1			
共通仮設費（率計上）		式		1			

# 工事数量総括表(附01)

工事名	春日PA（上り線）駐車場舗装工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
工事価格		式		1			
消費税額及び地方消費税額		式		1			
工事費計		式		1			

# - 特記仕様書 -

## 施工条件明示書

工事番号	平成30年度 仙松維新第1号	工事名	春日PA(上り線)駐車場舗装工事	事務所名	宮城県道路公社			
項目	条件	内 容		施工方法	備考			
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。						
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置								
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」	○ある	○いい	平成 年 月 日 (「3 工程関係」に条件がない場合は、期日以前の着手も可能)					
	○ある	○いい	請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事) 契約日から○○日以内 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。					
	○ある	○いい	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約書に定める工期の初日から30日以内に現場施工に着手しなければならない。(共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-8)					
	上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/kk50.htm							
3 工程関係								
(1) 関連工事による施工時期の調整	○ある	○いい	発注済の駐車場拡張工事・電気設備工事との調整	監督職員と協議を行い施工すること。				
(2) 施工時期による制限	○ある	○いい						
(3) 関係機関等との協議の未成立	○ある	○いい	・公安委員会;高速道路交通警察隊の春日PA規制の協議 ・塩釜警察署との大型車通行許可協議 ・道路管理者(利府町)との協議	監督職員と協議を行い施工すること。				
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	○ある	○いい	上記の協議結果によっては条件が付されることがある。	監督職員と協議を行い施工すること。				
4 公害対策関係								
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	○ある	○いい	夜間施工時の騒音、振動に配慮すること。	監督職員と協議を行い施工すること。				
5 安全対策関係								
(1) 交通安全施設等の指定	○ある	○いい	高速道路交通警察隊・塩釜警察署協議の回答及び保安施設設置計画書による					
(2) 占用施設との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	○ある	○いい						
6 排水工関係								
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性	○ある	○いい	濁水等が発生した際は適切な処理を行うこと。					
7 建設副産物対策関係								
(1) 共通事項	下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に関し先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。							
			処理・処分する場所	処理・処分方法	距離 制限時間			
(2) 建設発生土 (表土剥取土)	処理・処分	○ある	○いい	・塩釜市伊保石 地区 残土処理(受入工事での利用)	5.6 km以内 8時30分～ 17時00分			
(3) 建設発生土以外の 建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	○ある	○いい	東環リサイクルセンター	中間処理・再生資源化	10.0 km以内	8時30分～ 17時00分
	アスファルト塊							
	建設発生木材	○ある	○いい			km以内	時 分～ 時 分	
	建設汚泥	○ある	○いい			km以内	時 分～ 時 分	
	その他 抜根・除草	○ある	○いい		中間処理・再生資源化	km以内	時 分～ 時 分	
(4) 再生材の利用	○ある	○いい	種類・数量	再生RC-40 現場発生材(側溝等各種) 数量計算書のとおり				
8 工事現場のイメージアップ								
	○ある	○いい	内容	イメージアップの具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。				
9 品質証明								
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認 チェックリストの対象	○ある	○いい	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。					
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象	○ある	○いい	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。					
10 標準的な設計図書による発注方式								
	○ある	○いい	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。					
11 資材関係								
(1) 生コンクリート	生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。							
(2) 購入土	購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。							
(3) 宮城県グリーン製品の利用	必須	1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。						
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。	○ある	○いい	2. 盛土材、埋め戻し材					
「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は環境政策課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。	○ある	○いい	3. その他( )					
	○ある	○いい	4. その他( )					
(4) 現場吹付圧砕工	吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm <sup>2</sup> 以上とする。							
12 その他								
(1) 舗装の下請制限について	○ある	○いい	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。					
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における 工事費内訳調査」の対象の有無	○ある	○いい	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。					
(3) 三者会議の対象の有無	○ある	○いい	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。					
(4) 貸与資料の有無	○ある	○いい	本仕様書によるものほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料(春日PA拡張工事測量設計関連資料)					
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	○ある	○いい	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。					
(6) 工事写真の電子化の対象の有無	○ある	○いい	本工事の工事写真の作成は、原則として、デジタル写真管理情報基準(案)に基づき電子とすること。ただし、予定価格が8,000万円未満の場合は、監督員との協議により、従来の紙による作成も認められることとする。					
(7) 工事実績情報システム(CORINS)登録	請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。							
(8) 工事書類の簡素化の試行について	○ある	○いい	1. 本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。 2. 「宮城県土木部における工事書類簡素化一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合せ簿、材料確認書、段階確認書、立会願、夜間・休日作業願の書類を提出については、電子メール活用を基本とする。 3. これらに定められていない場合は、監督職員と協議するものとする。					



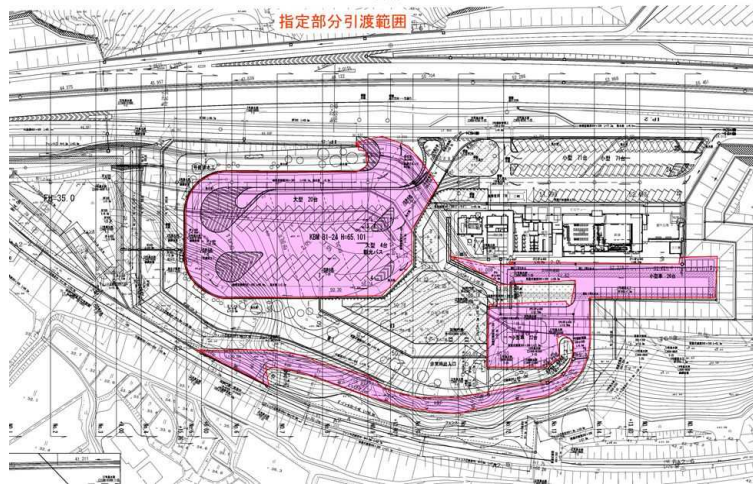


# 特記事項

項目	内容	施工方法	備考
18 住民への配慮について			
(1) 工事区間における対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工箇所は、春日PA駐車場供用中の箇所と営業バックヤードの箇所において施工することから、春日PA営業者との動線を確保し一般車との接触等事故を防止すること、又、利用町管理道路を通行する工事車両の出入りについても、接触等事故を防止すること。</li> </ul>	保安施設設置計画書を立案し、監督職員の承諾を得て、看板等を設置すること。	
(2) 住民への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事実施にあたり近隣住民へのチラシによる事前説明の周知すること。</li> <li>・利用町管理道路については、拡張工事及び春日PA関係車両の進入、退出の通行に留意し、地域住民が利用している生活道路の通行を確保すること。</li> <li>・車両の出入りについて、土砂の引きずり等を防ぎ、粉じん対策等の環境整備に努めること。</li> </ul>	監督職員と協議を行った上で、事前説明方法を検討し、工事中のトラブル発生防止を図ること。	
(3) 現場内の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は現在の駐車場及びPAバックヤードに対する保安施設設置の後に着手すること。</li> <li>・春日PA施設の埋設管等の立会をおこないルート確認をして施工すること。</li> <li>・水道管工事については、一部、延長して休憩施設区域に計画しているため調整を必要とする。</li> </ul>	監督職員と協議を行った上で、事前説明方法を検討し、工事中のトラブル発生防止を図ること。	
19 安全管理の徹底			
(1) 労働災害について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事請負者は工事の円滑な運営及び労働災害の防止に努めること。</li> </ul>		
(2) 交通安全管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事箇所は、春日PA駐車場(上り線)と隣接していることから、現場内の管理を徹底し、事故未然に防止すること。</li> <li>・資材搬入搬出時は、春日PA営業者が出入りするので、相互の調整をおこない施工計画を策定すること。</li> </ul>	監督職員と協議の上施工すること。	
20 建設副産物の処理			
(1) 建設副産物処理の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事で発生した建設副産物等の処理については、設計計上されていないものに関しても「建設廃棄物処理計画書」を作成すること。特に、現場発生材と不法投棄物の処理について記載すること。</li> </ul>	建設廃棄物等を処理した場合は「建設廃棄物等処理結果報告書」、「ニューフェスト」、「処理状況写真」を提出すること。	
(2) 建設副産物の取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事において発生する建設副産物等の処理については、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進書を作成し施工計画書に含めなければならない。</li> </ul>	共通仕様書1-1-5に基づき施工計画書に明記すること。	
21 安全費について			
(1) 安全費(積上げ)の計上について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日PA駐車場の交通誘導員については、現PA駐車場及び排水管布設等は夜間としている。なお交通誘導員の配置人数については、別紙供用日数算定により、計上している。</li> <li>・交通誘導員の変更又は特に必要となった場合は協議事項とする。なお、誘導員人数については、精算変更の対象とする。</li> <li>・夜間PA部施工については、交通誘導員Aを配置し、それ以外については、交通誘導員Bを配置する計画としている。</li> </ul>	保安施設設置計画書に交通誘導員の配置を明記すること。	
(2) 交通誘導員の適正配置について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該路線での交通誘導にあたっては、警備業法施行規則第38条による教育の履歴者、過去3年以内に建設業協会等が主催した建設工事の事故防止のための安全講習会の受講者等を配置するものとする。</li> </ul>	教育の実施状況、受講証の写し等確認できる資料を監督職員に提出すること。	
22 施工条件について			
(1) 事前調査について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通仕様書第1編共通編1-1-37に基づき、事前測量を実施し測量結果を監督職員に提出すること。春日PAについては、24時間営業しているため、工事内容と施工方法の確認をおこなうこと。町道の調査を行って、工事用車両による路面上の著しい変化が発生しないか、定期的に監視を行うものとする。</li> </ul>	監督職員と協議の上施工すること。	
(2) 契約書第18条に基づく協議について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計図書の見直し及び工事現場の調査を実施しその結果を監督職員に通知すること。</li> </ul>		
(3) 作業時間について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業可能時間としては、基本としてAM8:30～PM5:00(後片付け含む)時間とするが、作業工程上、夜間作業においては、PM21:00～AM6:00(後片付け含む)時間とする。</li> </ul>	監督職員と協議の上施工すること。	
(4) 施工区間の規制について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既設春日PA駐車場からの工事車両の進入は原則行わないこと。</li> <li>・PA駐車場の交通規制及び駐車場の制限をおこなうことと車両誘導に必要な作業については、公安委員会に提出する協議事項とする。</li> <li>・工事資材搬入時等に、交通誘導員を設置し施設の点検・管理パトロールをおこなうものとしている。</li> </ul>		
(5) 工事工程について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工計画は、春日PA営業を妨げないように工程計画を立てることとする。また、春日PA関連工事の工事時期の計画に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。(別紙予定工程表参照)</li> </ul>	監督職員と協議の上施工すること。	
(6) 設計仕様の基準について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半たわみ舗装のセントミルク浸透には、超速硬型を設計している。</li> </ul>	監督職員と協議の上施工すること。	
(7) 構造物撤去の利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の発生材については、再利用に努めること。</li> </ul>	監督職員と協議の上施工すること。	
(8) 仮設工について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日PA駐車場に係る保安設置規制材の期間は、舗装工事の期間を対象として、適切な維持管理を行うこととする。</li> </ul>		
(9) 残土について	伊保石地区:(主)仙台松島線⇄(-)利用中IC線⇄受入現場	監督職員と協議の上施工すること。	
(10) 資材・試料試験について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工管理するために必要となる試験経費については、共通仕様書1-2-②-32及び品質管理基準によるものとする。</li> </ul>	調査については、監督職員と協議を行うこと。	
(11) 小型車及び大型駐車場の供用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既設駐車場及び新設大型駐車場については、平成30年12月26日供用を予定していることから、供用開始に向けた工程管理を行うこと。</li> <li>・なお、上記以外の、バックヤード及び附帯工事については、工期内完成を行うものとする。</li> </ul>	調査については、監督職員と協議を行うこと。	
23 その他			
(1) 共通仕様書、マニュアルについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容について必ず確認すること</li> <li>1. 共通仕様書(土木工事編I)</li> <li>2. 共通仕様書(土木工事編II(共通特記仕様書))</li> <li>3. 土木設計マニュアル</li> </ul>	宮城県土木部事業管理課のホームページを確認し最新版にて管理を行うこと	
(2) 暴力団等の排除について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 乙が、この契約の履行期間中に宮城県入札契約暴力団等排除要綱(平成20年11月1日施工。(以下、「排除要綱」と言う。))別表各号に該当すると認められたときは、契約を解除することができる。</li> <li>2 乙は排除要綱別表各号に該当し、本県から指名停止措置を受けている者に、この契約の全部又は一部を下請負させ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請負受託をさせた者が、排除要綱別表各号に該当すると認められたときは、当該下請契約等の解除を求められることができる。</li> <li>3 乙は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団関係者(以下、「暴力団員等」という。))から不当要求を受けたときは、速やかに警察への通報をおこない、捜査に必要な協力をおこなうとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。なお、暴力団員等から不当要求又は被害を受け、警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が適切に行われた場合で、これにより、履行延滞等が発生する恐れがあると認められるときは、必要に応じて工程の調整、工期の延長等の措置を講ずることとする。</li> </ul>		

(3) 成果品について	・印刷物の他、工事完成書類の各種納品物を電子データとして電子媒体に納め、提出するものとする。	監督職員と協議の上提出すること。	
(4) 有料道路の料金について	・有料道路料金については、特に必要と認めた場合は通行券により精算するものとする。	監督職員と協議の上提出すること。	
(5) 設計見積り額と施工について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度設計施工単価については、平成30年5月(建設物価・積算資料)を用いて積算している。</li> <li>東屋及びテールベンチの設置費用については、見積りより計上している。</li> <li>その他の材料、施工方法について、設計図書に記載されているものと同等品以上のものを使用することとするが、現地調査により、別の材料、別の工法で施工する場合については、監督職員と協議するものとする。</li> </ul>	監督職員と協議の上提出すること。	
(6) 指定部分の引き渡しについて	・春日PA駐車場拡張工事との併行作業に伴い、舗装予定箇所(大型駐車場・従業員駐車場・管理用道路)は、改良工事施工者より平成30年10月26日に部分引き渡しを受け、施工範囲の監理を行うこととしている。	工事請負契約書第39条に基づく「指定部分の完成届」を提出	

平面図



横断図

